

決算補足説明資料

2013年度 第2四半期決算

2013年10月30日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード: 4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2013年度第2四半期 決算の概要	
	1. 2013年度第2四半期 業績サマリー 2. 2013年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2013年度第2四半期 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② セグメント別売上高 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	④ 営業外損益 ⑤ 特別損益 ⑥ 法人税等	4
	⑦ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
3	2013年度 業績予想について	
	① 損益予想 ② セグメント別売上高予想 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	④ 主要製品売上高予想	10
	⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑥ 減価償却費予想	11
4	5ヵ年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
6	新製品開発状況について(2013年10月30日現在)	
	1. 新規薬剤	15
	2. 効能追加	16
	3. 導出品	17
	4. 2013年度第1四半期決算発表時点(2013年7月31日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2013年10月30日現在)	19
	① 新規薬剤 ② 効能追加	19
	③ 導出品	20
7	その他	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	
	④ 配当金／株価推移	22
参考	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	23

1 2013年度第2四半期 決算の概要

(億円未満四捨五入)

1. 2013年度第2四半期 業績サマリー

売上高	2,028 億円	前年同期比	△ 10 億円	△ 0.5 %
○医薬品事業	2,021 億円	前年同期比	13 億円	0.7 %
○その他	8 億円	前年同期比	△ 23 億円	△ 74.9 %

「医薬品事業」は、前年同期比+0.7%、13億円増収の2,021億円となりました。
 国内医療用医薬品は、抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」や新製品が売上を伸ばしたものの、後発品の影響拡大やジェネリック医薬品事業における提携解消の影響などもあり、前年同期比3.2%減収の1,710億円となりました。
 海外医療用医薬品は前年同期比2.6%増収の104億円、一般用医薬品は前年同期比13.4%減収の24億円となりました。
 医薬品その他は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入の増加などにより、前年同期比63.5%増収の182億円となりました。
 「その他」は、昨年7月にファインケミカル事業を譲渡した影響などにより前年同期比△74.9%、23億円の減収となりました。

◎各事業の主たる製品及び役務の内容
 医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品
 その他：化粧品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	305 億円	前年同期比	△ 18 億円	△ 5.5 %
------	--------	-------	---------	---------

営業利益は前年同期比△5.5%、18億円減益の305億円となりました。
 昨年10月の血漿分画事業の統合により血漿分画製剤が仕入品になったことなどから、売上総利益は前年同期比41億円減益の1,204億円となりました。売上原価率は前年同期比1.7ポイント上昇しております。
 販売費及び一般管理費は、上記の事業統合影響により血漿分画事業関連の費用発生が減少したことなどにより、前年同期比24億円減少し、900億円となりました。なお、研究開発費は343億円、売上高に対する割合は16.9%となっております。

経常利益	322 億円	前年同期比	△ 9 億円	△ 2.8 %
------	--------	-------	--------	---------

四半期純利益	285 億円	前年同期比	91 億円	46.4 %
--------	--------	-------	-------	--------

経常利益は前年同期比△2.8%、9億円減益の322億円、四半期純利益は前年同期比+46.4%、91億円増益の285億円となりました。
 仲裁裁定に伴う特別利益などで、119億円の特別利益が発生しました。なお、前年同期には、固定資産売却益などで12億円の特別利益を計上しております。
 減損損失などで、9億円の特別損失が発生しました。なお、前年同期には、事業統合関連損失などで36億円の特別損失を計上しております。

2. 2013年度 業績予想サマリー

売上高	4,190 億円	前期比	△ 2 億円	0.0 %
営業利益	630 億円	前期比	△ 60 億円	△ 8.7 %
経常利益	655 億円	前期比	△ 39 億円	△ 5.6 %
当期純利益	450 億円	前期比	31 億円	7.4 %

3. 配当金

	2013年度		2012年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	20	40	20	40
配当性向 (のれん償却前)	- (-)	49.9% (40.8%)	- (-)	53.6% (43.2%)

2 2013年度第2四半期 連結決算について

(億円未満四捨五入)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2013年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2012年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%
売上高	2,028	2,038	△ 10	△ 0.5	2,000	28	1.4
売上原価	824	793	32	4.0	780	44	5.7
売上原価率	40.6%	38.9%			39.0%		
売上総利益	1,204	1,246	△ 41	△ 3.3	1,220	△ 16	△ 1.3
販管費	900	923	△ 24	△ 2.6	920	△ 20	△ 2.2
販管費比率	44.4%	45.3%			46.0%		
営業利益	305	322	△ 18	△ 5.5	300	5	1.5
経常利益	322	331	△ 9	△ 2.8	310	12	3.9
特別損益	111	△ 24	135	-	100	11	-
四半期純利益	285	195	91	46.4	260	25	9.8

9月25日に特別損益、四半期純利益予想を修正
 特別損益: △10億円→100億円 四半期純利益: 190億円→260億円

② セグメント別売上高

(単位:億円)

	2013年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント(前年同期比較)
		2012年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%	
医薬品事業	2,021	2,007	13	0.7	1,993	28	1.4	国内医療用医薬品 △56億円 海外医療用医薬品 +3億円 製造受託品 △8億円 技術導出契約金等 +79億円 一般用医薬品 △4億円 詳細は5ページ、主要製品売上高を参照
構成比	99.6%	98.5%			99.7%			
国内	1,764	1,834	△ 69	△ 3.8	1,757	7	0.4	
海外	256	174	82	47.4	236	20	8.6	
その他	8	31	△ 23	△ 74.9	7	1	10.7	ファインケミカル事業譲渡による減収
構成比	0.4%	1.5%			0.4%			
国内	2	20	△ 18	△ 88.1	2	0	21.0	
海外	5	11	△ 5	△ 49.6	5	0	6.6	
売上高合計	2,028	2,038	△ 10	△ 0.5	2,000	28	1.4	海外売上高比率 2012年度上期:9.0% 2013年度上期:12.9% 平均為替レート 2012年度上期:1US\$ = 79.78円 2013年度上期:1US\$ = 98.65円
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
国内	1,767	1,854	△ 87	△ 4.7	1,759	8	0.4	
海外	262	184	77	41.9	241	21	8.5	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2013年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント(前年同期比較)
		2012年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%	
売上原価	824	793	32	4.0	780	44	5.7	血漿分画事業統合による売上原価率上昇など
比率	40.6%	38.9%			39.0%			
販管費	900	923	△ 24	△ 2.6	920	△ 20	△ 2.2	
比率	44.4%	45.3%			46.0%			
研究開発費	343	342	1	0.1	354	△ 11	△ 3.1	
比率	16.9%	16.8%			17.7%			
研究開発費以外	557	581	△ 24	△ 4.2	566	△ 9	△ 1.6	
人件費	239	260	△ 21	△ 8.1	238	1	0.2	血漿分画事業統合による減少など
のれん償却額	53	51	2	4.0	52	1	1.2	
その他	266	271	△ 5	△ 1.8	276	△ 10	△ 3.8	
総人件費	418	451	△ 33	△ 7.3	416	2	0.4	

(注) 2013年5月8日 2012年度決算発表時に公表した予想数値

④ 営業外損益

(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	36	23	12	
受取利息	8	8	0	
受取配当金	5	4	0	
持分法による投資利益	3	5	△ 2	
為替差益	11	-	11	
その他	10	7	3	
営業外費用	18	15	4	
寄付金	2	3	0	
為替差損	-	3	△ 3	
その他	16	9	7	

⑤ 特別損益

(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	119	12	107	
仲裁裁定に伴う特別利益	110	-	110	レミケードの仲裁裁定による精算金等
段階取得に係る差益	9	-	9	
固定資産売却益	-	6	△ 6	
事業譲渡益	-	4	△ 4	前期)ファインケミカル事業譲渡益
投資有価証券売却益	-	2	△ 2	
特別損失	9	36	△ 28	
減損損失	8	3	5	当期)吉富研究棟ほか 前期)名張第二研修所ほか
事業統合関連損失	-	22	△ 22	前期)血漿分画事業統合に伴う損失
投資有価証券評価損	-	7	△ 7	
投資有価証券売却損	-	1	△ 1	
その他	1	3	△ 2	

⑥ 法人税等

(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前四半期純利益	433	307	126	
法人税、住民税 及び事業税	144	135	9	法定実効税率 調整) 2013年度上期 37.9% 2012年度上期 37.9%
法人税等調整額	3	△ 24	27	交際費等永久に損金に算入されない項目 0.8% 1.3% 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △1.6% △3.2% 試験研究費の特別控除 △8.0% △5.8% のれん償却額 4.6% 6.2% 受取配当金連結消去に伴う影響額 1.4% 2.8% 段階取得に係る差益 △0.8% - その他 △0.3% △3.0%
少数株主損益	0	1	0	
四半期純利益	285	195	91	税効果会計適用後の法人税等の負担率 34.0% 36.2%

⑦ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2013年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2012年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,996	1,979	17	0.9	1,966	30	1.5
国内医療用医薬品	1,710	1,766	△ 56	△ 3.2	1,697	13	0.8
レミケード	390	367	23	6.3	386	4	1.2
セレジスト	91	95	△ 4	△ 4.1	90	1	1.5
メインテート	77	70	8	10.9	75	2	3.0
タリオン	51	53	△ 1	△ 2.8	54	△ 3	△ 5.1
クレメジン	64	60	4	6.7	63	1	1.7
ウルソ	64	68	△ 4	△ 5.5	59	5	8.3
ヴェノグロプリンH	56	55	1	1.8	57	△ 1	△ 1.0
アンブラーグ	59	68	△ 9	△ 13.8	59	0	△ 0.5
ラジカット	57	70	△ 13	△ 18.1	50	7	14.3
デパス	50	53	△ 3	△ 6.0	47	3	5.9
シンボニー	44	22	22	98.7	41	3	7.9
レクサプロ	24	17	8	46.5	33	△ 9	△ 26.2
ヘルベッサー	35	39	△ 4	△ 9.4	36	△ 1	△ 1.5
タナトリル	32	37	△ 5	△ 13.2	33	△ 1	△ 2.7
ワクチン	140	126	14	10.8	127	13	10.1
テトラビック	34	-	34	-	43	△ 9	△ 20.9
インフルエンザ	11	15	△ 4	△ 27.6	14	△ 3	△ 20.6
ミールビック	45	54	△ 10	△ 17.6	23	22	94.2
田辺製薬販売取扱品(注2)	67	91	△ 24	△ 26.4	67	0	△ 0.3
海外医療用医薬品	104	102	3	2.6	109	△ 5	△ 4.3
ヘルベッサー	28	23	5	20.3	24	4	15.3
アルガトロバン(ノバスタン)	14	14	0	△ 2.7	9	5	50.3
タナトリル	8	9	0	△ 2.5	9	△ 1	△ 6.3
製造受託品(注3)	29	38	△ 8	△ 22.1	30	△ 1	△ 2.0
技術導出契約金等	153	74	79	107.3	130	23	17.6
ジレニア ロイヤリティ	141	60	80	133.7	-	-	-
一般用医薬品	24	28	△ 4	△ 13.4	27	△ 3	△ 9.9
医薬品事業合計	2,021	2,007	13	0.7	1,993	28	1.4

(注1) 2013年5月8日 2012年度決算発表時に公表した予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位: 億円)

	2013年度 第2四半期末	構成比%	2012年度末	増減額	主なポイント
総資産	8,819	100.0	8,668	151	
流動資産	4,849	55.0	4,767	82	
現金及び預金	338	3.8	203	136	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	565	6.4	640	△ 75	コマーシャルペーパー、社債の減少など
売上債権(注1)	1,278	14.5	1,299	△ 21	
(売上債権回転月数)	(3.78)		(3.72)	(0.06)	
たな卸資産	962	10.9	928	35	主にテトラビックなど製商品の増加
預け金	1,518	17.2	1,516	3	
繰延税金資産	90	1.0	84	6	
その他	97	1.1	98	△ 1	
固定資産	3,970	45.0	3,901	69	
有形固定資産	976	11.1	923	53	設備投資 +68億円、減価償却 △37億円、 除売却・減損その他 △4億円、 メディカゴ買収に伴う増加 +25億円など
無形固定資産	1,200	13.6	1,042	158	情報システム開発投資 +11億円、 減価償却 △6億円 メディカゴ買収に伴うのれん計上 +200億円 合併時のれん償却 △50億円
投資有価証券	1,118	12.7	1,210	△ 92	国債の減少、時価評価による減少など
前払年金費用	357	4.0	369	△ 12	
繰延税金資産	42	0.5	42	1	
その他	278	3.1	316	△ 39	
負債	1,147	13.0	1,139	8	
流動負債	861	9.8	861	0	
仕入債務(注2)	372	4.2	381	△ 9	
短期借入金	13	0.2	12	2	
1年内返済予定の長期借入金	1	0.0	-	1	
未払金	160	1.8	156	5	
未払法人税等	144	1.6	162	△ 18	
その他	171	1.9	151	20	
固定負債	286	3.2	277	9	
長期借入金	4	0.0	-	4	
繰延税金負債	85	1.0	84	2	
退職給付引当金	89	1.0	94	△ 6	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	16	0.2	16	-	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	29	0.3	32	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	32	0.4	36	△ 4	
その他	30	0.3	15	15	
純資産	7,672	87.0	7,529	143	
株主資本	7,616	86.4	7,443	173	
資本金	500	5.7	500	-	
資本剰余金	4,512	51.2	4,512	-	
利益剰余金	2,609	29.6	2,436	173	当期純利益 +285億円、 配当金支払い △112億円
自己株式	△ 5	△ 0.1	△ 5	0	
その他の包括利益累計額	32	0.4	36	△ 4	
その他有価証券評価差額金	66	0.7	72	△ 6	
繰延ヘッジ損益	11	0.1	16	△ 6	
為替換算調整勘定	△ 45	△ 0.5	△ 52	8	
少数株主持分	24	0.3	50	△ 26	

(注1) 売上債権＝受取手形＋売掛金 (注2) 仕入債務＝支払手形(除く営業外支払手形)＋買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	増減額	2012年度
現金・現金同等物期首残高	587	543	44	543
営業キャッシュ・フロー	368	333	35	606
税金等調整前当期純利益	433	307	126	677
減価償却費	43	44	△ 1	84
減損損失	8	3	5	8
のれん償却額	53	51	2	103
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 6	△ 6	-	△ 12
前払年金費用の増減額(△は増加)	12	23	△ 11	52
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△ 4	△ 6	3	11
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 12	0	△ 25
事業譲渡損益(△は益)	-	△ 4	4	△ 4
仲裁裁定に伴う特別利益	△ 110	-	△ 110	-
段階取得に係る差損益(△は益)	△ 9	-	△ 9	-
投資有価証券評価損益(△は益)	0	7	△ 7	3
事業統合関連損失	-	22	△ 22	23
売上債権の増減額(△は増加)	21	△ 8	29	△ 19
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 34	△ 103	69	△ 177
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 7	71	△ 78	86
未払金の増減額(△は減少)	△ 12	△ 1	△ 11	△ 7
利息及び配当金の受取額	13	13	0	27
仲裁裁定金の受取額	122	-	122	-
法人税等の支払額	△ 158	△ 70	△ 87	△ 179
その他	15	2	13	△ 45
投資キャッシュ・フロー	△ 91	△ 190	99	△ 350
有価証券の取得・売却等	228	△ 105	334	△ 93
定期預金の預入・払戻	△ 71	5	△ 77	4
預け金の預入による支出	△ 3	△ 4	1	△ 207
長期預金の預入・払戻	-	-	-	19
有形固定資産の取得・売却	△ 50	△ 11	△ 39	15
無形固定資産の取得による支出	△ 11	△ 10	△ 1	△ 21
投資有価証券の取得・売却等	30	△ 21	51	△ 5
子会社株式の取得による支出	△ 35	△ 58	24	△ 60
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 179	-	△ 179	-
事業譲渡による収入	-	14	△ 14	14
その他	△ 1	0	△ 1	△ 13
財務キャッシュ・フロー	△ 109	△ 127	18	△ 237
短期借入金の純増減額(△は減少)	0	△ 14	14	△ 12
長期借入れによる収入	4	-	4	-
配当金の支払額	△ 112	△ 112	-	△ 224
その他	0	0	0	0
現金・現金同等物に係る換算差額	6	0	6	25
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	175	16	159	44
現金・現金同等物期末残高	762	559	203	587

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	2012年度
現金及び預金	338	152	203
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 96	△ 20	△ 24
取得日から3か月以内に償還期限が到来する有価証券	315	225	206
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	4	1	2
預け金に含まれる現金同等物	201	201	201
現金・現金同等物	762	559	587

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	増減額	2012年度
設備投資額／発生ベース	68	42	25	92
システム投資額／発生ベース	11	10	0	22

2013年度上期の主な設備投資		2013年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	36億円	田辺三菱製薬	10億円
(新本社・加島オフィス棟建設)	(9億円)		
田辺三菱製薬工場	23億円		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2013年度上期	2012年度上期	増減額	2012年度
有形固定資産	37	38	△ 1	73
無形固定資産	6	6	0	11

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツピン タナベファーマ コリア(注)	三菱製薬(広州)(注)	天津田辺製薬(注)	タナベ インドネシア(注)	
売上高	2013年度上期	242	67	21	8	18	12
	2012年度	524	190	42	12	34	24
	2012年度上期	261	91	17	3	12	9
営業利益	2013年度上期	3	2	2	△ 5	0	2
	2012年度	22	10	3	△ 10	1	3
	2012年度上期	17	5	2	△ 4	1	0
経常利益	2013年度上期	3	2	2	△ 6	0	1
	2012年度	19	10	4	△ 10	1	3
	2012年度上期	17	5	2	△ 4	1	0
当期純利益	2013年度上期	2	1	1	△ 6	0	1
	2012年度	13	5	3	△ 10	1	1
	2012年度上期	11	1	1	△ 4	0	0
研究開発費	2013年度上期	6	-	-	0	-	0
	2012年度	11	-	-	0	-	0
	2012年度上期	6	-	-	0	-	0
有形固定資産減価償却費	2013年度上期	11	0	0	1	0	0
	2012年度	20	0	1	1	1	1
	2012年度上期	10	-	0	1	0	0
総資産	2013年度上期	623	53	30	44	37	25
	2012年度	637	85	27	47	24	21
	2012年度上期	636	73	21	32	19	19
純資産	2013年度上期	393	3	24	22	29	14
	2012年度	397	5	21	26	18	15
	2012年度上期	395	1	17	18	14	12
従業員数(人)	2013年度上期	1,409	171	126	440	446	488
	2012年度	1,369	164	122	444	430	455
	2012年度上期	1,332	166	122	463	422	446

(注) 海外子会社については、2012年度より決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。ただし、中国では法定決算日は12月末となっており、決算期を変更できないため、中国の子会社である三菱製薬(広州)、天津田辺製薬については仮決算を実施し、決算期変更に対応しております。

※通期業績予想の修正について

2013年度上期の業績を踏まえ、2013年5月8日に公表した2013年度通期業績予想につきまして、売上高予想(4,170億円→4,190億円)、営業利益予想(700億円→630億円)、経常利益予想(715億円→655億円)、当期純利益予想(440億円→450億円)を修正しております。詳細につきましては、「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」3ページをご覧ください。

① 損益予想

(単位:億円)

	2013年度 下期予想	2012年度 下期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,162	2,154	8	0.4	4,190	4,192	△ 2	0.0	
売上原価	876	871	5	0.5	1,700	1,664	36	2.2	
売上原価率	40.5%	40.5%			40.6%	39.7%			
売上総利益	1,286	1,282	4	0.3	2,490	2,528	△ 38	△ 1.5	
販管費	960	915	45	5.0	1,860	1,838	22	1.2	
販管費比率	44.4%	42.5%			44.4%	43.9%			
営業利益	325	367	△ 42	△ 11.4	630	690	△ 60	△ 8.7	
経常利益	333	363	△ 30	△ 8.2	655	694	△ 39	△ 5.6	
特別損益	△ 71	7	△ 78	-	40	△ 17	57	-	
当期純利益	165	224	△ 59	△ 26.5	450	419	31	7.4	

② セグメント別売上高予想

(単位:億円)

	2013年度 下期予想	2012年度 下期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	2,160	2,140	20	0.9	4,180	4,147	33	0.8	
構成比	99.9%	99.3%			99.8%	98.9%			
国内	1,887	1,857	29	1.6	3,651	3,691	△ 40	△ 1.1	
海外	273	282	△ 9	△ 3.2	529	456	73	16.1	
その他	2	14	△ 12	△ 85.6	10	45	△ 35	△ 78.3	
構成比	0.1%	0.7%			0.2%	1.1%			
国内	2	3	△ 1	△ 38.7	4	24	△ 19	△ 81.3	
海外	0	11	△ 11	△ 99.9	5	21	△ 16	△ 74.9	
売上高合計	2,162	2,154	8	0.4	4,190	4,192	△ 2	△ 0.0	海外売上高比率 2012年度:11.4% 2013年度予想:12.8%
構成比	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%			
国内	1,889	1,861	28	1.5	3,655	3,714	△ 59	△ 1.6	計画為替レート 1US\$ = 98円
海外	273	293	△ 20	△ 6.8	535	477	57	12.0	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2013年度 下期予想	2012年度 下期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	876	871	5	0.5	1,700	1,664	36	2.2	
比率	40.5%	40.5%			40.6%	39.7%			
販管費	960	915	45	5.0	1,860	1,838	22	1.2	
比率	44.4%	42.5%			44.4%	43.9%			
研究開発費	367	323	44	13.7	710	665	45	6.7	
比率	17.0%	15.0%			16.9%	15.9%			
研究開発費以外	593	592	1	0.2	1,150	1,173	△ 23	△ 2.0	
人件費	244	259	△ 15	△ 5.7	483	519	△ 36	△ 6.9	
のれん償却額	51	52	△ 1	△ 1.8	104	103	1	1.0	
その他	297	280	17	6.0	563	551	12	2.2	
総人件費	420	450	△ 30	△ 6.6	838	900	△ 62	△ 6.9	

④ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2013年度 下期予想	2012年度 下期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	2,138	2,115	24	1.1	4,135	4,094	41	1.0
国内医療用医薬品	1,835	1,799	35	2.0	3,544	3,566	△ 21	△ 0.6
レミケード	400	368	32	8.8	790	735	55	7.5
セレジスト	87	89	△ 2	△ 2.1	178	184	△ 6	△ 3.1
メインテート	85	71	14	18.9	162	141	21	15.0
タリオン	105	90	15	16.1	156	143	13	9.1
クレメジン	65	62	3	5.2	129	122	7	5.9
ウルソ	62	65	△ 3	△ 5.1	126	133	△ 7	△ 5.3
ヴェノグロブリンH	59	54	5	8.7	115	110	6	5.2
アンブラーグ	55	62	△ 7	△ 10.7	114	130	△ 16	△ 12.3
ラジカット	46	63	△ 17	△ 27.0	103	133	△ 30	△ 22.3
デバス	48	51	△ 3	△ 5.3	98	104	△ 6	△ 5.7
シンボニー	57	30	27	86.9	101	53	48	91.9
レクサプロ	51	29	22	76.7	75	46	30	65.6
ヘルベッサー	33	37	△ 4	△ 11.1	68	76	△ 8	△ 10.2
タナドリル	29	34	△ 5	△ 15.0	61	71	△ 10	△ 14.1
ワクチン	167	162	5	3.3	307	288	19	6.6
テトラビック	50	45	5	10.4	84	45	39	85.4
インフルエンザ	71	61	10	15.8	82	77	5	7.1
ミールビック	18	26	△ 8	△ 31.0	63	80	△ 18	△ 21.9
田辺製薬販売取扱品(注1)	74	99	△ 25	△ 25.7	140	190	△ 49	△ 26.0
海外医療用医薬品	99	132	△ 34	△ 25.4	203	234	△ 31	△ 13.2
ヘルベッサー	28	36	△ 9	△ 23.6	56	59	△ 4	△ 6.6
アルガトロバン(ノバスタン)	10	15	△ 5	△ 35.2	23	29	△ 6	△ 19.5
タナドリル	9	12	△ 3	△ 21.2	18	21	△ 3	△ 13.4
製造受託品(注2)	25	30	△ 5	△ 15.6	55	68	△ 13	△ 19.2
技術導出契約金等	180	153	27	17.5	333	227	106	46.7
一般用医薬品	21	25	△ 4	△ 14.6	46	53	△ 7	△ 14.0
医薬品事業合計	2,160	2,140	20	0.9	4,180	4,147	33	0.8

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2013年度 下期予想	2012年度 下期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	73	50	23	46.6	141	92	49	52.4
システム投資額／発生ベース	15	11	4	36.3	26	22	4	19.5

2013年度下期の主な設備投資予定		2013年度下期の主なシステム投資予定	
生産関係設備	49億円	研究開発関係システム	8億円
研究開発関係設備	16億円	生産関係システム	2億円
その他	8億円	その他	5億円

⑥ 減価償却費予想

(単位:億円)

	2013年度 下期予想	2012年度 下期実績	増減額	増減率%	2013年度 通期予想	2012年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	45	35	9	26.7	82	73	9	12.1
無形固定資産	7	5	2	32.2	13	11	2	16.1

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度上期	2013年度予想
売上高	4,047	4,095	4,072	4,192	2,028	4,190
売上原価	1,478	1,546	1,523	1,664	824	1,700
売上総利益	2,569	2,550	2,549	2,528	1,204	2,490
販管費	1,955	1,784	1,858	1,838	900	1,860
研究開発費	831	658	702	665	343	710
営業利益	615	766	690	690	305	630
経常利益	616	767	688	694	322	655
特別利益	1	6	12	42	119	40
特別損失	108	132	61	59	9	
当期純利益	303	377	390	419	285	450

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度上期末
総資産	7,969	8,187	8,199	8,668	8,819
流動資産	3,442	3,916	4,197	4,767	4,849
固定資産	4,526	4,271	4,003	3,901	3,970
負債	1,200	1,227	984	1,139	1,147
流動負債	778	877	696	861	861
固定負債	423	350	289	277	286
純資産	6,768	6,960	7,215	7,529	7,672

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度上期	2013年度予想
営業キャッシュ・フロー	239	591	372	606	368	-
投資キャッシュ・フロー	△ 612	△ 77	△ 632	△ 350	△ 91	-
財務キャッシュ・フロー	△ 171	△ 154	△ 172	△ 237	△ 109	-
設備投資	84	102	71	92	68	141
情報システム開発投資	8	8	12	22	11	26
減価償却費	133	124	125	84	43	95
自己資本比率(%)	84.1	84.3	87.3	86.3	86.7	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.6	5.5	5.5	5.7	7.5	-
1株当たり当期純利益(円)	53.91	67.27	69.54	74.67	50.88	80.21
1株当たり純資産(円)	1,194.79	1,230.16	1,275.85	1,333.22	1,363.33	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度上期末	2013年度末予想
連結	9,266	9,198	9,180	8,835	9,197	9,088
単体	5,186	4,957	4,826	4,850	4,913	4,896

5 四半期業績の推移

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2012年度					2013年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想
売上高	1,044 24.9%	994 23.7%	1,187 28.3%	966 23.0%	4,192 100.0%	1,039 24.8%	989 23.6%	2,162 51.6%	4,190 100.0%
国内	956 25.7%	898 24.2%	1,052 28.3%	808 21.8%	3,714 100.0%	914 25.0%	853 23.3%	1,889 51.7%	3,655 100.0%
海外	88 18.4%	96 20.2%	135 28.3%	158 33.1%	477 100.0%	125 23.4%	137 25.5%	273 51.1%	535 100.0%
医薬品事業	1,019 24.6%	988 23.8%	1,182 28.5%	958 23.1%	4,147 100.0%	1,034 24.7%	986 23.6%	2,160 51.7%	4,180 100.0%
国内	937 25.4%	897 24.3%	1,051 28.5%	807 21.9%	3,691 100.0%	913 25.0%	851 23.3%	1,887 51.7%	3,651 100.0%
海外	82 18.0%	92 20.1%	131 28.8%	151 33.1%	456 100.0%	121 22.9%	135 25.5%	273 51.6%	529 100.0%
その他	25 54.9%	6 13.9%	6 12.5%	8 18.7%	45 100.0%	5 50.8%	3 28.6%	2 20.7%	10 100.0%
国内	19 80.4%	1 5.8%	2 7.3%	2 6.6%	24 100.0%	1 29.3%	1 25.3%	2 45.4%	4 100.0%
海外	6 26.7%	5 23.0%	4 18.2%	7 32.2%	21 100.0%	4 68.5%	2 31.3%	0 0.2%	5 100.0%
売上原価	406	386	475	397	1,664	435	389	876	1,700
売上原価率	38.9%	38.8%	40.0%	41.0%	39.7%	41.9%	39.3%	40.5%	40.6%
売上総利益	637 25.2%	608 24.1%	713 28.2%	570 22.5%	2,528 100.0%	604 24.3%	600 24.1%	1,286 51.6%	2,490 100.0%
販売費及び一般管理費	449 24.4%	474 25.8%	447 24.3%	468 25.5%	1,838 100.0%	442 23.7%	458 24.6%	960 51.6%	1,860 100.0%
研究開発費	169 25.4%	173 26.0%	170 25.5%	153 23.0%	665 100.0%	176 24.7%	167 23.6%	367 51.7%	710 100.0%
研究開発費以外	280 23.9%	301 25.7%	277 23.6%	315 26.9%	1,173 100.0%	266 23.1%	291 25.3%	593 51.6%	1,150 100.0%
人件費	129 24.9%	130 25.1%	125 24.0%	135 25.9%	519 100.0%	119 24.5%	120 24.8%	244 50.6%	483 100.0%
のれん償却額	25 24.6%	25 24.6%	26 25.5%	26 25.3%	103 100.0%	26 25.0%	27 25.6%	51 49.4%	104 100.0%
その他	125 22.8%	145 26.3%	126 22.8%	155 28.1%	551 100.0%	121 21.6%	144 25.6%	297 52.8%	563 100.0%
営業利益	188 27.3%	134 19.4%	266 38.6%	101 14.7%	690 100.0%	162 25.8%	142 22.6%	325 51.7%	630 100.0%
経常利益	196 28.3%	135 19.4%	270 38.9%	93 13.3%	694 100.0%	171 26.0%	151 23.1%	333 50.8%	655 100.0%
四半期(当期)純利益	108 25.8%	87 20.7%	158 37.6%	66 15.9%	419 100.0%	104 23.1%	181 40.3%	165 36.6%	450 100.0%

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位:億円)

	2012年度					2013年度			
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	下期予想	通期予想
医療用医薬品	1,006 24.6%	974 23.8%	1,167 28.5%	948 23.1%	4,094 100.0%	1,023 24.7%	973 23.5%	2,138 51.7%	4,135 100.0%
国内医療用医薬品	905 25.4%	861 24.1%	1,020 28.6%	780 21.9%	3,566 100.0%	885 25.0%	824 23.3%	1,835 51.8%	3,544 100.0%
レミケード	179 24.4%	188 25.6%	198 27.0%	170 23.1%	735 100.0%	192 24.3%	199 25.1%	400 50.6%	790 100.0%
セレジスト	50 27.2%	45 24.6%	50 27.0%	39 21.3%	184 100.0%	47 26.4%	44 24.8%	87 48.8%	178 100.0%
メインテート	36 25.8%	33 23.6%	40 28.1%	32 22.6%	141 100.0%	40 24.5%	38 23.2%	85 52.4%	162 100.0%
タリオン	31 21.3%	22 15.5%	37 25.8%	53 37.3%	143 100.0%	27 17.5%	24 15.3%	105 67.2%	156 100.0%
クレメジン	31 25.7%	29 23.6%	35 28.7%	27 22.0%	122 100.0%	32 25.1%	32 24.5%	65 50.4%	129 100.0%
ウルソ	35 26.3%	33 24.6%	37 27.6%	29 21.6%	133 100.0%	33 26.1%	31 24.6%	62 49.2%	126 100.0%
ヴェノグロブリンH	29 26.1%	27 24.4%	32 29.2%	22 20.3%	110 100.0%	29 25.2%	27 23.7%	59 51.1%	115 100.0%
アンブラーグ	37 28.3%	31 24.3%	35 27.0%	27 20.5%	130 100.0%	31 27.2%	28 24.4%	55 48.4%	114 100.0%
ラジカット	37 28.0%	33 24.6%	37 27.7%	26 19.8%	133 100.0%	30 28.8%	27 26.6%	46 44.6%	103 100.0%
デバス	28 26.7%	25 24.4%	28 27.4%	22 21.5%	104 100.0%	26 26.2%	24 24.7%	48 49.1%	98 100.0%
シンボニー	10 19.7%	12 22.5%	16 29.5%	15 28.3%	53 100.0%	21 20.4%	24 23.3%	57 56.3%	101 100.0%
レクサプロ	8 16.5%	9 20.0%	14 31.0%	15 32.5%	46 100.0%	10 13.7%	14 18.7%	51 67.7%	75 100.0%
ヘルベッサー	21 27.7%	18 23.7%	21 27.9%	16 20.8%	76 100.0%	19 27.0%	17 24.7%	33 48.2%	68 100.0%
タナトリアル	20 27.7%	17 24.3%	20 27.6%	15 20.5%	71 100.0%	17 27.7%	15 24.8%	29 47.5%	61 100.0%
ワクチン	61 21.3%	65 22.6%	114 39.5%	48 16.6%	288 100.0%	88 28.6%	52 16.9%	167 54.4%	307 100.0%
テトラビック	-	-	27 59.3%	18 40.7%	45 100.0%	29 34.5%	5 6.0%	50 59.5%	84 100.0%
インフルエンザ	0 △ 0.5%	16 20.5%	68 88.7%	△ 7 △ 8.7%	77 100.0%	△ 1 △ 0.7%	12 14.2%	71 86.5%	82 100.0%
ミールビック	34 41.9%	21 25.6%	7 9.2%	19 23.3%	80 100.0%	32 51.8%	12 19.5%	18 28.7%	63 100.0%
田辺製薬販売 取扱品 (注1)	48 25.5%	42 22.3%	55 29.2%	43 22.9%	190 100.0%	35 25.0%	32 22.6%	74 52.4%	140 100.0%
海外医療用 医薬品 (注2)	45 19.5%	56 24.0%	50 21.6%	82 35.0%	234 100.0%	51 25.3%	53 26.1%	99 48.6%	203 100.0%
ヘルベッサー	11 19.3%	12 19.4%	11 19.1%	25 42.2%	59 100.0%	15 26.3%	13 23.6%	28 50.2%	56 100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	7 24.8%	7 23.5%	5 17.2%	10 34.6%	29 100.0%	7 28.3%	7 30.0%	10 41.7%	23 100.0%
タナトリアル	5 21.9%	4 20.2%	4 20.6%	8 37.3%	21 100.0%	5 26.2%	4 21.1%	9 52.7%	18 100.0%
製造受託品 (注3)	17 25.3%	21 30.2%	13 18.8%	17 25.6%	68 100.0%	15 27.5%	14 26.0%	25 46.4%	55 100.0%
技術導出契約金等	38 16.7%	36 15.9%	84 37.2%	69 30.3%	227 100.0%	71 21.4%	82 24.6%	180 54.0%	333 100.0%
一般用医薬品	14 25.6%	15 27.5%	15 27.8%	10 19.1%	53 100.0%	11 25.0%	13 28.4%	21 46.5%	46 100.0%
医薬品事業合計	1,019 24.6%	988 23.8%	1,182 28.5%	958 23.1%	4,147 100.0%	1,034 24.7%	986 23.6%	2,160 51.7%	4,180 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 2012年度より海外子会社の決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。

(注3) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2013年10月30日現在)

1. 新規薬剤

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	日本	申請中 (2013年5月)	自社
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	台湾	申請中 (2013年1月)	米:ヴァーテックス
		韓国	フェーズ 1	
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオニヒター
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	日本	フェーズ 2	米:エンヴィヴオ
MT-9938 (ナルフラフィン)	κ オピオイド受容体作動剤 (透析患者における難治性そう痒症)	米国、カナダ	フェーズ 2	日:東レ
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ 2	自社
		米国	フェーズ 1	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社
		日本	フェーズ 2	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症) (乾癬) (炎症性腸疾患)	欧州	フェーズ 2	自社
		日本	フェーズ 1	
		欧州	フェーズ 2	
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国、カナダ	フェーズ 1	自社
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社

2. 効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
テネリア (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・追加併用)	日本	申請中 (2013年2月)	自社	
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	日本	フェーズ3	自社	
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患 治療剤 (小児・アレルギー性鼻炎)	日本	フェーズ3	日:宇部興産	
	(小児・アトピー性皮膚炎)		フェーズ3		
テラビック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎[ジェノタイプ2])	日本	フェーズ3	米:ヴァーテックス	
	(C型慢性肝炎[ベガシス併用])		フェーズ3		
	(C型慢性肝炎[フェロン併用])		フェーズ3		
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	日本	フェーズ3	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(特殊型パーチェット病*)		フェーズ3		
	(小児・クローン病)		フェーズ3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ3		
	(乾癬:用法・用量の変更 [増量])		フェーズ3		
イムセラ (フィンゴリド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ3	自社	日本はノバルティス ファーマと共同開発 海外はノバルティスに 導出
ピンドレン (コレスチラン[INN])	リン吸収阻害作用 (小児・高リン血症)	欧州	フェーズ3	自社	
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	日本	フェーズ2	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)		フェーズ1		

*希少疾病用医薬品指定

3. 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先 (備考)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	申請中 (2012年7月)	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤)	米国	申請中 (2013年2月)	
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤)	欧州	申請中 (2013年3月)	
	(肥満)	米国、欧州	フェーズ 2	
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	韓国	申請中 (2013年9月)	韓:ハンドクファーマシューティカルズ
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[$\alpha 4 \beta 7 / \alpha 4 \beta 1$ 阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英:グラクソ・スミスクライン
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	米:メディシノバ
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	仏:キレナイック
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓国:サマファーマ
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 1/2	日:協和発酵キリン
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シデム)
TT-138	$\beta 3$ 受容体作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	フェーズ 1	米:メディシノバ
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤(うつ病)	欧州	フェーズ 1	米:ソクケイファーマシューティカルズ
Y-803	BRD阻害剤 (血液がん)	米国、欧州	フェーズ 1	スイス:オンコエシックス (治験コード:OTX015)

4. 2013年度第1四半期決算発表時点(2013年7月31日)からの変更点

① 自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2013年10月30日現在
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	日本	フェーズ 1	フェーズ 2
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (乾癬)	欧州	記載なし	フェーズ 2
	(炎症性腸疾患)	欧州	記載なし	フェーズ1
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ 3	中止

② 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2013年10月30日現在
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	韓国	フェーズ 3	申請中 (2013年9月)
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 1	フェーズ 1/2

5. 新製品開発状況補足資料(2013年10月30日現在)

① 新規薬剤

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本で2型糖尿病を対象に申請中。
MP-424 (テラプレビル)	C型肝炎ウイルスのプロテアーゼNS3/4A阻害による経口投与可能なC型慢性肝疾患治療剤。ヴァーテックス(米)より導入。台湾で申請中、韓国でフェーズ1。日本では、製品名テラビックで販売中。
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト作用を有する。ゲデオニヒター(ハンガリー)より導入。日本で統合失調症を対象にフェーズ2b/3。
MT-4666	α 7ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)作動剤。エンヴィヴオ(米)より導入。日本でアルツハイマー型認知症を対象にフェーズ2。
MT-9938 (ナルフラフィン)	κ オピオイド受容体作動剤。東レ(日本)より導入。難治性そう痒症を予定適応症に、米国でフェーズ2。
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。日本では、製品名テネリアで2012年9月に販売開始。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。日本および欧州で糖尿病性腎症を対象にフェーズ2。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。イムセラ/ジレニアの後継品として多発性硬化症を対象に日本でフェーズ1、欧州でフェーズ2。乾癬を対象に欧州でフェーズ2。炎症性腸疾患を対象に欧州でフェーズ1。
GB-1057(人血清アルブミン[遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤としてフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダでフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。欧州でフェーズ1。

② 効能追加

製品名 (一般名)	補足説明
テネリア (テネリグリプチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤として、2012年9月に発売。追加併用療法に関する効能一部変更について、申請中。
ラジカト (エダラボン)	(筋萎縮性側索硬化症[2005年6月、希少疾病用医薬品指定])フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。フェーズ3。
タリオン (ペボタスチン)	2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。 (小児・アレルギー性鼻炎)フェーズ3。 (小児・アトピー性皮膚炎)フェーズ3。
テラビック (テラプレビル)	2011年にC型肝炎治療剤として発売。 (C型肝炎[ジェノタイプ2])フェーズ3。 (C型肝炎[ペガシス併用])フェーズ3。 (C型肝炎[フェロン併用])フェーズ3。
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も受けている。 (難治性川崎病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定])フェーズ3。 (特殊型ベーチェット病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定])フェーズ3。 (小児・クローン病)フェーズ3。 (小児・潰瘍性大腸炎)フェーズ3。 (乾癬:用法・用量の変更[増量])フェーズ3。
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として発売。 (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)フェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
ピンドレン (コレステラン[INN])	胆汁酸排泄促進剤。日本では、1999年より高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。 (小児・高リン血症)フェーズ3。欧州で高リン血症治療薬としてドイツとオーストリアで発売。
コレバイン (コレステミド[JAN])	胆汁酸排泄促進剤。1999年に高コレステロール血症治療剤として発売。 (2型糖尿病)フェーズ2。 (高リン血症)フェーズ1。

③ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。米国で製品名 INVOKANA™として販売中。ヤンセンファーマシューティカルズにより2型糖尿病を対象に欧州で2012年7月に申請。メトホルミンとの合剤を2013年2月に米国で、2013年3月に欧州で申請。肥満を対象にフェーズ 2終了。
MP-513 (テネグリプリチン)	DPP-4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療薬。韓国でハンドクファーマシューティカルズが承認申請中。
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。多発性硬化症治療薬として日本では、製品名イムセラで販売中。ノバルティスが日欧米で製品名ジレニアとして販売中。 (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)国際共同治験でフェーズ 3。日本では当社とノバルティスファーマが共同開発。
T-0047 (フィラテグラスト)	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。グラクソ・スミスクラインが欧州ほかでフェーズ 2。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神疾患治療剤。米国メディシノバが不眠症を対象にフェーズ 2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK (Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。千寿製薬が国内でフェーズ 2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。キレナイック(仏)がフェーズ 2。
TA-7906	PDE4阻害剤。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、マルホが国内でフェーズ2。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。喘息を予定適応症に、サマファーマが韓国でフェーズ2。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症を予定適応症に、協和発酵キリンが日本でフェーズ1/2。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1のPK/PD試験の結果、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間の優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシデムが欧州でフェーズ 1。
TT-138	β 3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。メディシノバが米国でフェーズ1。
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤。うつ病を予定適応症に、ソクセイファーマシューティカルズが欧州でフェーズ1。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。血液がんを予定適応症に、オンコエシックスが米国、欧州でフェーズ 1。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2013年度上期末	2012年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	31	28	3	増加) MTPC ホールディングス カナダ、 メディカゴ、メディカゴ U. S. A.、 メディカゴ R&D 減少) タナベ ヨーロッパ
非連結子会社数	1	1	-	
関連会社数	4	3	1	増加) タナベ ヨーロッパ(持分法非適用)
合計	36	32	4	

② 連結子会社一覧

(2013年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	田辺三菱製薬工場(株)	1,130	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	三菱製薬(広州)有限公司	US\$23,500,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
4	天津田辺製薬有限公司	US\$16,230,000	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
5	吉富薬品(株)	385	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
6	(株)バイファ	100	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
7	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
8	田辺製薬販売(株)	169	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
9	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
10	田辺総合サービス(株)	90	100.0 (—)	3月末	不動産の管理等
11	(株)ベネシス	100	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
12	MPロジスティクス(株)	95	65.0 (—)	3月末	物流・倉庫業
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	100.0 (—)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U. S. A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U. S. A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	3月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
19	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 192,709,000	100.0 (—)	12月末	メディカゴグループへの投資
20	メディカゴ	CAD 158,567,000	60.0 (54.3)	12月末	ワクチンの研究開発・製造
21	メディカゴ U. S. A.	US\$99	60.0 (54.3)	12月末	ワクチンの製造
22	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (54.3)	12月末	ワクチンの研究開発
23	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
24	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
25	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
26	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
27	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
28	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
29	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

③ 持分法適用関連会社一覧

(2013年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)エーピーアイ コーポレーション	4,000	47.7 (—)	3月末	医薬品原体等の製造・販売
2	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2013年9月末	2013年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	425,613	424,977
期末発行済株式数	560,992,303	560,992,939
期中平均自己株式数	425,316	423,959
期中平均株式数	560,992,600	560,993,957

② 大株主の状況

順位	株主名	2013年9月末		2013年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行	24,197	4.31%	2	31,890	5.68%
3	日本マスタートラスト信託銀行	23,310	4.15%	3	26,640	4.75%
4	日本生命保険	13,611	2.42%	4	15,116	2.69%
5	ニプロ	7,642	1.36%	5	7,642	1.36%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	6	7,254	1.29%
7	ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	7,100	1.26%	7	7,100	1.26%
8	田辺三菱製薬従業員持株会	4,849	0.86%	8	4,747	0.85%
9	エスアイエツクス エスアイエス エルティーデー	4,670	0.83%	21	2,064	0.37%
10	東京海上日動火災保険	4,175	0.74%	10	4,175	0.74%

③ 所有者別株式数分布状況

	2013年9月末			2013年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	82	91,099	16.23%	81	104,341	18.59%
外国法人等	382	93,803	16.71%	388	86,473	15.41%
個人・その他(注)	20,888	33,018	5.88%	16,331	29,397	5.24%
その他の法人	294	338,945	60.38%	286	339,197	60.43%
金融商品取引業者	48	4,444	0.79%	44	1,900	0.34%
合計	21,694	561,311	100.00%	17,130	561,311	100.00%
単元未満株式の状況	-	106	-	-	106	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2013年9月末425千株、2013年3月末424千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度上期	2013年度予想
1株当たり年間配当金(円)	28	28	35	40	20	40
配当性向(%)	51.9	41.6	50.3	53.6	-	49.9
(のれん償却前)	(39.0)	(32.9)	(40.0)	(43.2)	(-)	(40.8)
期末株価(円)	1,320	1,350	1,161	1,445	1,377	-
株式時価総額(億円)	7,411	7,579	6,518	8,112	7,731	-

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤(関節リウマチ、クローン病、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤)
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、乾癬、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。2011年5月の「慢性心不全」の効能追加に続き、2013年6月に「頻脈性心房細動」の効能を追加、心不全と心房細動に効能を有する唯一のβ遮断薬である。</p> <p>オリジン:(ドイツ)メルクセローノ</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴う痒みから早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			
ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用人免疫グロブリン製剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された静注用の免疫グロブリン製剤。重症感染症(抗生物質との併用)や川崎病の急性期などに使用される。また、2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)」、2011年2月、「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善」、同年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り)」、2013年8月、「天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)」の効能追加に係る承認を取得。治療の選択肢が広がるとともに患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。</p>			
アンブラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF αをターゲットとした抗TNF α抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。（ヤンセンファーマとの共同販売） オリジン：（米）ヤンセン・バイオテック</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポーターへの選択性が高いSSRIで、世界97の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。 オリジン：ルンドベック（デンマーク）、製造販売元：持田製薬</p>			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤（狭心症・高血圧症治療剤）
<p>世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。</p>			
タナトリル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤（高血圧症治療剤）
<p>確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
<p>既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン（IPV）を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回（3回）および1期追加（1回）の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎（ポリオ）の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者（保護者）や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2013年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2013年 4月1日	ヤンセン・ファーマシューティカルズ社による米国におけるSGLT2阻害剤カナグリフロジン「TA-7284」の承認取得について
4月1日	タナベ ヨーロッパの株式譲渡に関するお知らせ
4月3日	高リン血症治療薬「BindRen」ドイツ、オーストリアにおける販売開始に関するお知らせ
5月27日	2型糖尿病治療薬 SGLT2阻害剤「TA-7284(一般名:カナグリフロジン)」国内での製造販売承認申請に関するお知らせ
6月14日	選択的 β 1アンタゴニスト「メインテート錠」頻脈性心房細動の効能・効果の承認取得について
6月21日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
6月27日	ヴィーヴァス社による欧州における「TA-1790」の承認取得について
7月3日	新本社建設のお知らせ
7月12日	カナダ医薬品会社Medicago Inc.の株式取得(子会社化)に関するお知らせ
8月1日	田辺三菱製薬工場株式会社に関する国内製造拠点の再編並びに同社足利工場譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ
8月6日	中国における新製剤棟 建設に関するお知らせ
8月8日	米国ヤンセン・バイオテック社との間における仲裁裁定について
9月9日	インドネシアにおける新製剤棟建設に関するお知らせ
9月10日	加島オフィス棟建設のお知らせ
9月19日	カナダ医薬品会社Medicago Inc.の株式取得(子会社化)完了に関するお知らせ
9月19日	シンガポール駐在員事務所開設のお知らせ
9月20日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」2014年度 助成案件募集のお知らせ
9月30日	薬事法違反に係る行政処分について